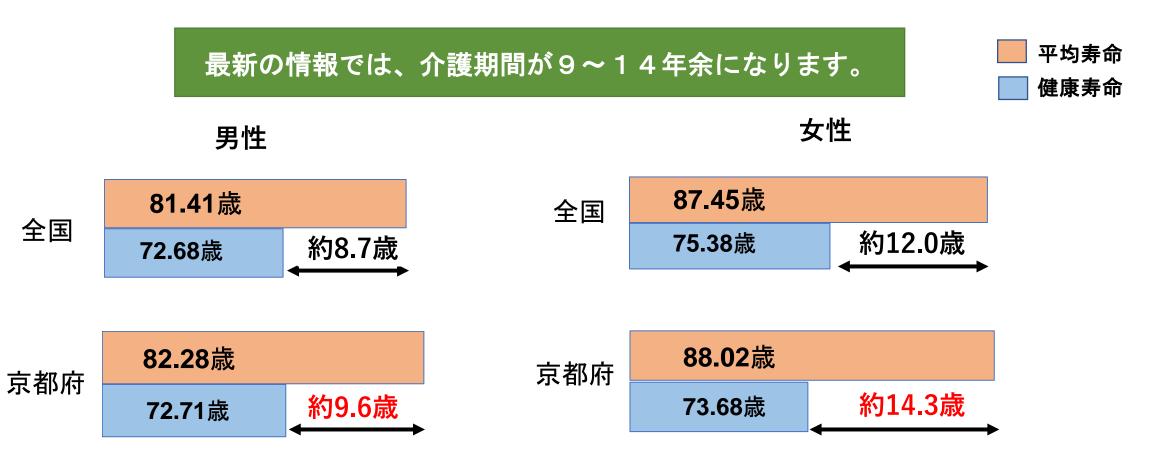


- 1 1日3食をきちんと食べる。
- 2 たんぱく質食品を毎食食べる。
- 3 野菜、海藻、いも、果物などいろいろな食べ物を食べる。
- 4 間食をうまく利用する
- 5 毎日、こまめに水分をとる。

参加者の質問(一部抜粋)

- ◆高齢期のBMIの基準を知らされたが、自分はその範囲内ではない。 それでもよいのか。
- ◆牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなることが多いので、 ヨーグルトを量を加減して食べているが、それでよいか。
- ◆海藻類にのりの佃煮はいれてよいか。

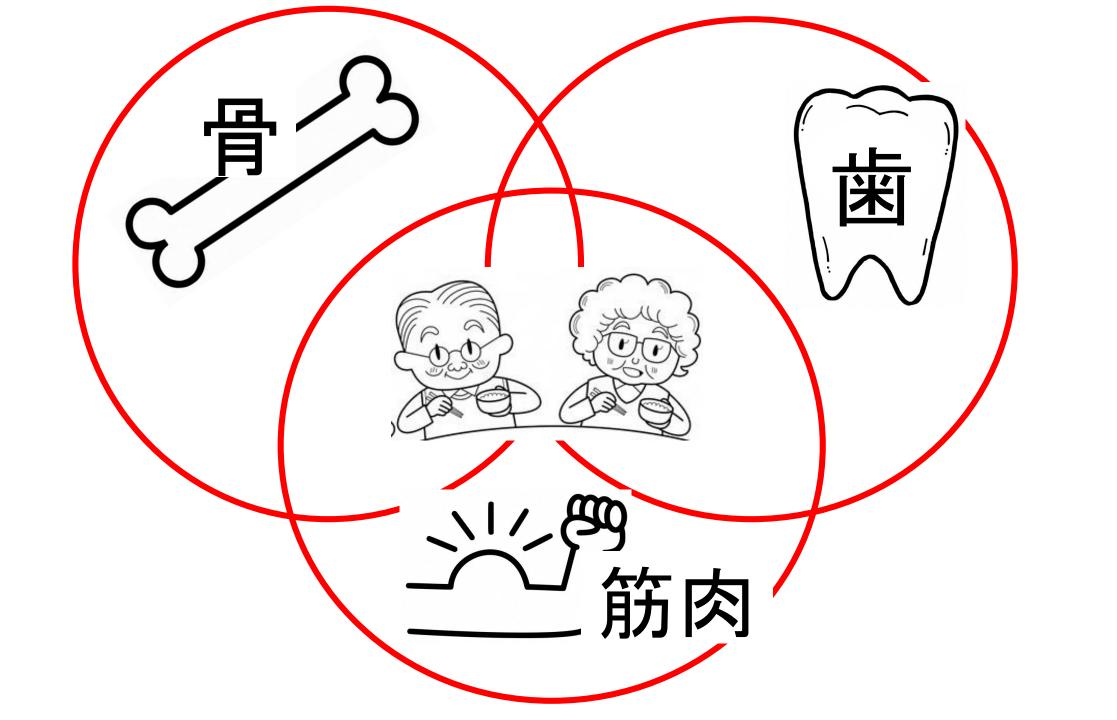
令和元年(2019年) 京都府民の平均寿命と健康寿命

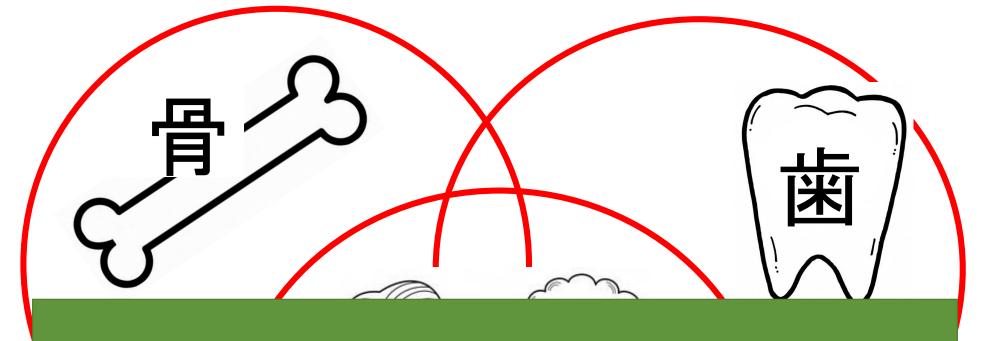


注)健康寿命:日常生活に制限のない期間の平均

平均寿命:日常生活に制限のない期間の平均+日常生活に制限のある期間の平均

出典:厚労省HP「健康寿命の令和元年値について」より算出





管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士。言語聴覚士など、 専門職の多職種連携が、フレイル予防を進めるカギです。

